

## 東京工芸大学創立100周年記念シンポジウム 「テクノロジー×アートが創る未来」を開催 —東京都写真美術館にて12月2日（土）開催—

東京工芸大学（学長：吉野弘章／所在地：東京都中野区／以下、同大）大学院芸術学研究科は、創立100周年記念イベント2023シンポジウム「テクノロジー×アートが創る未来」を東京都写真美術館（恵比寿ガーデンプレイス内）で開催します。開催日は2023年12月2日（土）、入場無料です。

1923年に日本で初めて写真専門の高等教育機関である小西写真専門学校として創立された本学は、今年、創立100周年を迎えました。この歴史を踏まえ、記念イベントとして、2023シンポジウム「テクノロジー×アートが創る未来」を開催します。

最前線で活躍中の3人のゲストをお招きし、本学学長を交えてテクノロジーとアートの融合、共演が可能にした「今」を、そして、それらが創り出す新しい世界を、未来を考えます。ぜひ会場にてご参加ください。

概要は以下のとおりです。

■1. 日時：2023年12月2日(土) 午後1時開演 午後4時半頃終了予定

■2. 会場：東京都写真美術館1階ホール（定員190人）

東京都目黒区三田1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内

[https://topmuseum.jp/contents/pages/access\\_index.html](https://topmuseum.jp/contents/pages/access_index.html)

■3. 総合テーマ：テクノロジー×アートが創る未来

■4. ゲスト

①杉山 央氏（アート・イベントプロデューサー）森ビル新領域企画部。2018年「MORI Building DIGITAL ART MUSEUM: EPSON teamLab Borderless」室長を経て、都市開発における美術館・文化発信施設の企画を担当し、2023年、虎ノ門ヒルズステーションタワー「TOKYO NODE」運営室長に就任。2025年、大阪関西万博シグネチャーパビリオン「いのちのあかし」計画統括ディレクター。

②山田 剛史氏（チームラボ採用チームリーダー）

2013年株式会社エイチ・アイ・エスに新卒入社。同社スイス法人でマーケティングマネージャーとして従事し、帰国後、2017年チームラボに参加。2018年より採用チームのリーダーに就任後、10カ国50以上の大学での講義や「Design Matters Tokyo 23」「Lucid Immersive Summit Singapore」などのグローバルカンファレンスで登壇・ワークショップを担当している。

③林 千晶氏(ロフトワーク共同創業者・相談役)

花王を経て、Web、コンテンツ、コミュニケーションなどをデザインするクリエイティブカンパニーのロフトワークを2000年に起業、昨年まで代表取締役・会長を務める。退任後、株式会社Q0(キューゼロ)を設立。秋田・富山などの地域を拠点に、地元企業などとのコラボレーションやプロジェクトを企画・実装し、「継承される地域」のデザインの創造を目指す。

■5. 内容及び進行スケジュール

1) イントロダクション

吉野 弘章学長「創立100周年を迎えた東京工芸大学とテクノロジー×アート」

2) 3人のゲストによる基調講演

杉山 央氏: テーマ「メディアアートと都市」

山田 剛史氏: テーマ「チームラボとアート」

林 千晶氏: テーマ「ソーシャルデザインの可能性」

3) トークセッション

テーマ「テクノロジー×アートが創る未来」

杉山 央氏+山田 剛史氏+林 千晶氏+吉野 弘章学長+田邊 順子教授(司会)

※シンポジウムの模様を動画収録し、後日、本ホームページ上で一般公開します。